

**X M L コ ン ソ ー シ ア ム**

**第 6 回 総 会**

**議 案 書**

2006 年 6 月 1 日 (木)

於 東京コンファレンスセンター・品川

## 目 次

第 1 号議案 2005 年度活動報告の件	
・ 活動実績 .....	1-1
第 2 号議案 2005 年度収支報告の件	
・ 収支計算書.....	2-1
・ 貸借対照表・財産目録.....	2-2
・ 監査報告書.....	2-3
第 3 号議案 会員規約改定の件	
・ 会員規約改定について.....	3-1
第 4 号議案 2006 年度活動計画承認の件	
・ 2006 年度活動方針.....	4-1
・ 2006 年度会員数目標.....	4-2
・ 2006 年度年間主要活動計画.....	4-2
第 5 号議案 2006 年度予算計画承認の件	
・ 予算計画 .....	5-1
第 6 号議案 2006 年度 理事 / 監事選任の件	
・ XML コンソーシアム役員構成.....	6-1

## 第 1 号議案

2005 年度活動報告の件

XMLコンソーシアム

## 1. 活動実績

1. 会員数 : 2005 年 3 月 31 日 法人会員:182 会員 (特別会員 1 会員を含む)  
 学生会員: 1 会員  
 2006 年 6 月 1 日 法人会員:170 会員 (特別会員 1 会員を含む)  
 学生会員: 1 会員

### 2. 活動実績

#### 1) 総会開催

##### ・第 5 回総会

開催日時 2005 年 5 月 27 日  
 開催会場 東京コンファレンスセンター・品川  
 参加者数 81 社 117 名

#### 2) 理事会開催 : 年次 2 回、臨時 1 回、ML 審議 7 回 (2006 年 4 月以降を含む:以下同様)

2005 年 4 月度 (ML 審議) 2005 年 5 月 27 日 2005 年 9 月度 (ML 審議)  
 2005 年 12 月度 (ML 審議) 2006 年 1 月度 (ML 審議) 2006 年 2 月 9 日

-----  
 2006 年 4 月度 (ML 審議) 2006 年 4 月度(2) (ML 審議) 2006 年 5 月 22 日 (臨時)  
 2006 年 5 月度 (ML 審議)

#### 3) 運営委員会 : 月次 13 回、臨時 1 回、ML 審議 11 回

2005 年 4 月 14 日 2005 年 4 月度 (ML 審議) 2005 年 5 月 12 日  
 2005 年 5 月 20 日 (臨時) 2005 年 6 月 16 日 2005 年 6 月度 (ML 審議)  
 2005 年 7 月 14 日 2005 年 8 月度 (ML 審議) 2005 年 9 月 8 日  
 2005 年 9 月度 (ML 審議) 2005 年 10 月 13 日 2005 年 10 月度 (ML 審議)  
 2005 年 11 月 10 日 2005 年 11 月度 (ML 審議) 2005 年 11 月度(2) (ML 審議)  
 2005 年 12 月 8 日 2005 年 12 月度 (ML 審議) 2006 年 1 月 12 日  
 2006 年 2 月 9 日 2006 年 3 月 9 日 2006 年 3 月度 (ML 審議)

-----  
 2006 年 4 月 13 日 2006 年 5 月 11 日 2006 年 5 月度 (ML 審議)  
 2006 年 5 月度(2) (ML 審議)

#### 4) セミナー開催 : 6 回

- ・部会紹介セミナー (2 回) 2005 年 7 月 5 日、7 月 13 日
- ・XML コンソーシアムセミナー (2 回) 2005 年 9 月 13 日、2006 年 3 月 3 日
- ・ユーザー企業のための Web サービス・SOA 活用講座 (1 回) 2005 年 10 月 18 日 - 19 日
- ・PAGE2006 クロスメディアコンファレンス (1 回) 2006 年 2 月 3 日

##### ・延べ参加者数

会員 108 社 186 名  
 非会員 89 社 101 名  
 プレス 8 社 9 名  
 合計 202 社 296 名

付属資料 1. セミナー、ユーザーシンポジウム、部会活動成果発表開催実績 参照

#### 5) ユーザーシンポジウム開催 : 2 回

- ・第 3 回ユーザーシンポジウム「リアル Web サービス」 2005 年 4 月 15 日
- ・第 4 回ユーザーシンポジウム「XML の新しい潮流とどうつきあうか？」 2005 年 12 月 14 日

##### ・延べ参加者数

会員 77 社 128 名  
 非会員 64 社 81 名  
 プレス 7 社 7 名  
 合計 148 社 216 名

付属資料 1. セミナー、ユーザーシンポジウム、部会活動成果発表開催実績 参照

#### 6) 部会活動成果発表 : 2 回

- ・第 4 回 XML コンソーシアム Week (部会成果発表会) 2005 年 6 月 7 日 - 10 日 計 4 日間
- ・第 7 回 XML コンソーシアム Day (部会中間成果発表会) 2005 年 12 月 15 日 - 16 日 計 2 日間

-----  
 ・第 5 回 XML コンソーシアム Week (部会成果発表会) 2006 年 5 月 22 日 - 26 日 計 5 日間

##### ・延べ参加者数

会員	350 社	580 名
非会員	140 社	158 名
プレス	6 社	6 名
合計	496 社	744 名

付属資料 1. セミナー、ユーザーシンポジウム、部会活動成果発表開催実績 参照

## 7) 部会活動

- ・部会リーダー・ミーティング 月次
- ・部会開催 月次
- ・部会参加者数(2006年 3月 31日現在)

	参加者数
SOA 部会	52 社 97 名
セキュリティ部会	32 社 46 名
Web サービス実証部会	35 社 56 名
ドキュメント・メタデータ活用部会	49 社 68 名
ユビキタス・組み込み系部会	29 社 43 名
ビジネス・イノベーション研究部会	44 社 76 名
ContactXML 部会	20 社 32 名
TravelXML 標準化部会	26 社 39 名
コンテンツ利用情報標準化部会	19 社 28 名
関西部会	11 社 24 名

## 8) 実証実験

- ・「道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービス実証実験」  
Web サービス実証部会、ドキュメント・メタデータ活用部会

## 9) 標準化仕様策定

- ・TravelXML Version 1.3 勧告  
Version 1.4 勧告案

## 10) 勉強会: 8 回

- ・XML マスター勉強会 2006年 2月 17日、2月 21日、2月 28日、3月 1日、3月 7日、3月 22日
- ・Web2.0 勉強会 2006年 3月 3日、4月 11日

## 11) 外部団体との協業関係(順不同)

- ・アライアンスパートナー
  - XBRLJapan
  - 次世代電子商取引推進協議会
  - 製造業 XML 推進協議会
  - 社団法人 日本旅行業協会
  - 特定非営利活動法人 UML モデリング推進協議会
  - 特定非営利活動法人 ITS Japan
  - PSLX コンソーシアム
  - XML 技術者育成推進委員会

-----  
・標準化支援

- 社団法人 日本旅行業協会
- ・Web サービス実証実験
  - 財団法人 日本道路交通情報センター
- ・ユビキタス組込み
  - YRP ユビキタスネットワーク研究所
- ・マーケティング活動支援
  - WS-I JSIG
  - OMG
  - DOPG
- ・情報交流・交換
  - 情報処理学会デジタルドキュメント研究会
  - ビジネスモデル学会

## 12) 大規模展示会ブース出展 : 2 回

- ・「ビジネスショウ Tokyo2005」 2005年 5月 18日-20日 東京ビッグサイト  
「道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービス実証実験システム」 デモ展示
- ・「ITS EXPO」 2005年 7月 12日、13日、17日、18日 愛・地球博内ロータリー館

「道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービス実証実験システム」 デモ展示

13) 外部主催イベントに対する協賛、後援 : 18 回

- ・「UML Forum/Tokyo2005」 後援 2005 年 4 月 26 日-27 日 東京・青山テピア  
主催:オブジェクトテクノロジー研究所
- ・「ビジネスショー Tokyo2005」 協賛 2005 年 5 月 18 日-20 日 東京ビッグサイト  
主催:日本経営協会・東京商工会議所
- ・「NetWorld+Interop Tokyo 2005」 後援 2005 年 6 月 6 日-10 日 幕張メッセ  
主催:NetWorld+Interop Tokyo 2005 実行委員会
- ・「ビジネスモデル学会第 5 回 KM 研究会」 後援 2005 年 6 月 24 日 東京大学  
主催:ビジネスモデル学会
- ・「Modeling Forum 2005」 後援 2005 年 9 月 15 日-16 日 大手町サンケイプラザ  
主催:UML モデリング推進協議会
- ・「ビジネスモデル学会 第 6 回 KM 研究会、秋季年次大会」 後援 2005 年 10 月 7 日-8 日 東京大学  
主催:ビジネスモデル学会
- ・「Liberty Alliance Day in Japan 2005」 後援 2005 年 10 月 24 日 東京コンファレンスセンター品川  
主催:リバティ・アライアンス・プロジェクト
- ・「JavaOne Tokyo」 後援 2005 年 11 月 8 日-10 日 東京国際フォーラム  
主催:サン・マイクロシステムズ
- ・「丸山先生レクチャーシリーズ in Tokyo 2005」 特別協賛 2005 年 11 月 8 日、12 月 9 日、2006 年 1 月 20 日 東京国際フォーラム他  
主催:稚内北星学園大学
- ・「RIA コンソーシウム・ビジネスセミナー」 後援 2005 年 11 月 14 日 日本薬学会 長井記念館大ホール  
主催:RIA コンソーシウム
- ・「第 2 回ビジネスモデリングサミット」 後援 2005 年 11 月 16 日-17 日 都市センターホテル  
主催:オブジェクトテクノロジー研究所
- ・「デジタル・ドキュメント・シンポジウム 2005」 協賛 2005 年 11 月 25 日 トッパンフォームズ  
主催:情報処理学会 デジタルドキュメント研究会
- ・「Developers Summit 2006」 オフィシャルコミュニティ 2006 年 2 月 9 日-10 日 目黒雅叙園  
主催:株式会社翔泳社
- ・「ソフトウェアジャパン 2006」 協賛 2006 年 2 月 17 日 東京コンファレンスセンター・品川  
主催:情報処理学会
- ・「ビジネスモデル学会、第 7 回 KM 研究会」 協賛 2006 年 3 月 25 日、3 月 31 日 應義塾大学、東京大学  
主催:ビジネスモデル学会

- 
- ・「LiM Tec 2006」 後援 2006 年 4 月 11 日-12 日 秋葉原コンベンションホール  
主催:オブジェクトテクノロジー研究所
  - ・「ビジネスショー Tokyo2006」 協賛 2006 年 5 月 17 日-19 日 東京ビッグサイト  
主催:日本経営協会・東京商工会議所
  - ・「第 55 回デジタル・ドキュメント研究会」 協賛 2006 年 5 月 26 日 日立製作所  
主催:情報処理学会 デジタルドキュメント研究会

14) 外部セミナーへの講師派遣 : 7 回 15 名

- ・「UML Forum/Tokyo2005」 2005 年 4 月 26 日 青山テピア  
「パネル討論「XML+UML=ビジネス」」  
牧野友紀氏(日本ユニシス)、天野富夫氏(日本アイ・ビー・エム)
  - ・「ビジネスショー Tokyo2005 デジタルドキュメントセミナー」 2005 年 5 月 18 日 東京ビッグサイト  
「ユビキタス社会のビジネスコミュニケーションを支える XML/Web サービス」  
XML コンソーシウムエバンジェリスト 小林茂氏(日本ユニシス)、下川和男氏(イースト)、松山憲和氏(PFU アクティブラボ)、大場みち子氏(日立製作所)
  - ・「製造業 XML フォーラム」 2005 年 6 月 17 日 コンファレンススクエア M+ノグランド  
「XML コンソーシアムの最新情報」  
XML コンソーシウム副会長 平野洋一郎氏(インフォテリア)
  - ・「JavaOne Tokyo」 2005 年 11 月 10 日 東京国際フォーラム  
「Web サービス・セキュリティのベスト・プラクティス」  
XML コンソーシウム セキュリティ部会 松永豊氏(東京エレクトロン)
  - ・「第 2 回ビジネスモデリングサミット」 2005 年 11 月 17 日 都市センターホテル  
「ビジネスプロセスを実現する SOA のアーキテクチャパターン」  
XML コンソーシウム SOA 部会 天野富夫氏(日本アイ・ビー・エム)、牧野友紀氏(日本ユニシス)
  - ・「Developers Summit 2006」 2006 年 2 月 9 日 目黒雅叙園  
「史上最多!? 道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービスシステム」  
XML コンソーシウム Web サービス実証部会 松山憲和氏(PFU アクティブラボ)
-

- ・「ビジネスショウ Tokyo2006 Web2.0 セミナー」 2006 年 5 月 18 日 東京ビッグサイト  
「Web2.0! いかにビジネスに活かすのか」  
XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏 (インフォテリア)、XML コンソーシアムエバンジェリスト 下川和男氏 (イースト)、市川恵貴氏 (日本ビューレット・パッカード)、XML コンソーシアムエバンジェリスト 野村直之氏 (メタデータ)  
企画・協力 : XML コンソーシアム

15) 取材対応・執筆依頼

- ・取材対応  
「日経 SYSTEM」  
松山憲和氏 (PFU アクティブラボ)、田原春美氏 (日本アイ・ピー・エム)
- ・執筆  
「情報処理学会誌寄稿」  
天野富夫氏 (日本アイ・ピー・エム)、丸山宏氏 (日本アイ・ピー・エム)、牧野友紀氏 (日本ユニシス)、大場みち子氏 (日立製作所)  
「情報処理学会第 52 回デジタルドキュメント研究会論文」  
大野邦夫氏 (ジャストシステム)、大場みち子氏 (日立製作所)、新麗氏 (インターネットイニシアティブ)、大森俊太郎氏 (日立ソフトウェアエンジニアリング)、田中宏一氏 (内田洋行)、中村博子氏 (トッパン・フォームズ)、中村雄一氏 (日立システムアンドサービス)、藤岡慎弥氏 (デジタルコミュニケーションズ)  
「画像電子学会第 16 回 VMA 研究会論文」  
新麗氏 (インターネットイニシアティブ)、大野邦夫氏 (ジャストシステム)、大場みち子氏 (日立製作所)、大森俊太郎氏 (日立ソフトウェアエンジニアリング)、高木悟氏 (YRP コピキタス・ネットワーク研究所)、田中宏一氏 (内田洋行)、中村博子氏 (トッパン・フォームズ)、中村雄一氏 (日立システムアンドサービス)、藤岡慎弥氏 (デジタルコミュニケーションズ)  
「データベース白書 2006」  
平野洋一郎氏 (インフォテリア)、松山憲和氏 (PFU アクティブラボ)、野村直之氏 (メタデータ)、天野富夫氏 (日本アイ・ピー・エム)、牧野友紀氏 (日本ユニシス)

16) プレスリリース 8 回

- ・「日本旅行業協会」と「XML コンソーシアム」旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.3」勧告を発表  
～ 標準化の第 2 フェーズを完了し、今後は普及活動を中心に活動～ 2005 年 5 月 12 日
- ・XML コンソーシアム、「愛・地球博」期間中試験提供の道路交通情報 Web サービスと連携した複合 Web サービスの実証実験に成功  
～ 「愛・地球博」期間中、実証実験システムをインターネット上で運用～ 2005 年 5 月 17 日
- ・UML モデリング推進協議会と XML コンソーシアム、BPM と SOA の実現化の研究・調査の協業に合意  
2005 年 9 月 15 日
- ・「日本旅行業協会」と「XML コンソーシアム」 「TravelXML」全範囲の XML Schema 作成を完了し、パブリックレビューを開始  
～ 旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.4」勧告案を発表～ 2005 年 10 月 27 日
- ・XML コンソーシアム、XML 技術者育成への取り組みを強化  
～ 「XML マスター勉強会」を 2 月から開始～ 2006 年 2 月 13 日
- ・XML コンソーシアム、「Web 2.0 勉強会」を開始  
～ 企業情報システムに役立つ「Web 2.0」を研究～ 2006 年 2 月 23 日
- 
- ・XML コンソーシアム、暗号化 XML データの利用技術の検討を開始 2006 年 4 月 6 日
- ・「日本旅行業協会」と「XML コンソーシアム」 「TravelXML」の XML Schema の標準化を全て完了、今後実用フェーズへ  
～ 旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.4」勧告を発表～ 2006 年 6 月 1 日

17) メルマガ発行: 14 回

- ・発行

2005 年 4 月 28 日	2005 年 5 月 31 日	2005 年 6 月 30 日
2005 年 7 月 29 日	2005 年 8 月 31 日	2005 年 9 月 30 日
2005 年 10 月 31 日	2005 年 11 月 30 日	2005 年 12 月 26 日
2006 年 1 月 31 日	2006 年 2 月 28 日	2006 年 3 月 31 日
-----		
2006 年 4 月 28 日	2006 年 5 月 31 日	

18) HomePage 更新

- ・コンテンツ更新 (日時/随時)
  - XML コンソーシアムセミナー等開催案内
  - 部会開催案内
  - XML ステータス・リポート更新
  - 協賛・後援イベント案内掲載

19) アンケート実施

・「活動アンケート」、「XML & Web サービス普及度アンケート」 2005 年 11 月 - 12 月実施

以上



## 第2号議案

2005年度収支報告の件

XMLコンソーシアム

## 収支計算書

2005 年 4 月 1 日 から 2006 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

	予算	実績	差額	備考
<b>1. 収入の部</b>				
前年度繰越	7,602,783	7,602,783	0	
年会費	17,000,000	16,902,500	97,500	
セミナー参加費	100,000	199,000	99,000	
雑収入	0	28,113	28,113	原稿執筆料、受取利息
<b>収入の部合計</b>	<b>24,702,783</b>	<b>24,732,396</b>	<b>29,613</b>	
<b>2. 支出の部</b>				
総会開催費	2,500,000	2,452,768	47,232	会場費、設備費、懇親会費用等
定例セミナー開催費	500,000	103,328	396,672	資料コピー代
成果発表会開催費	800,000	529,047	270,953	資料コピー代
地方セミナー開催費	200,000	0	200,000	
ユーザーシンポジウム開催費	2,000,000	1,761,774	238,226	会場費、設備費、資料コピー等
HP リニューアル費	2,000,000	0	2,000,000	
サーバー運用費	1,680,000	1,575,000	105,000	サーバーホスティング費用
部会・推進委員会支援金	1,000,000	881,646	118,354	iPlat 試験サイト運用費用等
メルマガ制作費	840,000	840,000	0	メルマガ制作費用
業務委託費	10,080,000	10,080,000	0	事務局業務委託費用
通信費・車両運送費	360,000	276,562	83,438	TEL/FAX 料金、郵便、宅急便等の費用
旅費交通費	240,000	155,620	84,380	事務局交通費
事務消耗品費	720,000	437,434	282,566	コピー機使用料、事務用品費用等
雑費	600,000	138,658	461,342	振込手数料、理事懇親会費用等
予備費	1,182,783	0	1,182,783	
次期繰越金	0	5,500,559	5,500,559	次期繰越金
<b>支出の部合計</b>	<b>24,702,783</b>	<b>24,732,396</b>	<b>29,613</b>	

## 貸借対照表

2006 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
・資産の部			
現金預金	5,297,164		
前払金	203,395		
流動資産合計		5,500,559	
資産合計			5,500,559
・正味財産の部			
正味財産			5,500,559
(うち当期正味財産減少額)			(2,102,224)
負債及び正味財産合計			5,500,559

## 財産目録

2006 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
・資産の部			
現金預金	5,297,164		
普通預金 三菱東京 UFJ 銀行	5,297,164		
前払金	203,395		
流動資産合計		5,500,559	
資産合計			5,500,559
正味財産			5,500,559

前払金: 第 6 回総会会場予約金

# 監査報告書

2006年 4月26日

XMLコンソーシアム  
会長 鶴保 征城 殿

監 事

株式会社ジャストシステム

早瀬 雅之



ピー・シー・エー株式会社

水谷 学



私ども監事は、XMLコンソーシアム会員規約第31条に基き、2005年度（2005年4月1日から2006年3月31日まで）における会計及び業務について監査を行い、次のように報告します。

## 記

### 1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査の為、帳簿並びに関係書類の間覧をし、貸借対照表、収支計算書、財産目録について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。
- (2) 業務監査のため関係書類の間覧をし、業務執行について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

### 2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、収支計算書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法令及び規約に従って、XMLコンソーシアムの財産及び収支を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容および業務執行に関して、不正行為または法令もしくは規約に違反する事実はないことを認める。

以上

## 第3号議案

会員規約改定の件

XMLコンソーシアム

## 1. 会員規約改定について

### 1) 「企業システムにおける Web2.0(以下「Web 2.0」という)」を追加、「啓蒙」を「啓発」に変更

(目的)

第3条 本会は日本における XML(eXtensible Markup Language 以下「XML」という)、Web サービス、SOA(Service Oriented Architecture 以下「SOA」という)、企業システムにおける Web2.0(以下「Web2.0」という)関連の普及啓発、アプリケーション開発及びシステム構築の推進、ならびに XMLボキャブラリーの標準化を支援する非営利団体である。

### 2) 「Web2.0」を追加、「啓蒙」を「啓発」に変更

(活動)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、以下の活動を行う。

- (1) XML、Web サービス、SOA、Web2.0 のビジネスおよび社会基盤に対する有用性の研究
- (2) XML、Web サービス、SOA、Web2.0 を活用したアプリケーション開発及びシステム構築の普及促進
- (3) XMLボキャブラリー標準化の促進ならびに普及啓発
- (4) XML、Web サービス、SOA、Web2.0 に関する情報の収集、交換ならびに提供
- (5) XML、Web サービス、SOA、Web2.0 の情報を集約したポータル構築
- (6) 国内外の他コンソーシアムとの連携協力
- (7) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な活動

### 3) 「Web2.0」を追加

(種別)

第5条 本会の会員は、XML、Web サービス、SOA、Web2.0に関わる法人および個人事業主の内、会費規定に定めた所定の会費を納めたものとする。但し、特に理事会の承認を得た場合にはこの限りでない。  
また、本会の目的達成のため必要に応じて特別会員をおくことができる。

### 4) 「勉強会」、「個人情報の取り扱い」、「活動支援金規定」を追加

(勉強会)

第50条 本会は、活動の迅速化を図るため、勉強会を設けることができる。

2 勉強会は、会員が提案し、理事会への報告をもって活動を開始する。

3 勉強会は、その目的とする事項について、主として文献講読、検討、討議などを行う勉強の場とする。

(個人情報の取り扱い)

第51条 本会は、会員企業に関連する個人情報について運用細則に定める個人情報保護ポリシーに従い取り扱うこととする。

活動支援金規定

(XMLコンソーシアム活動支援金)

1 活動支援金は、一口一万円とする。

2 活動支援金は会員・非会員を問わず法人企業、個人事業主、個人から提供を受けることができる。

3 活動支援金は通年、随時の受け付けとする。

以上

## 第4号議案

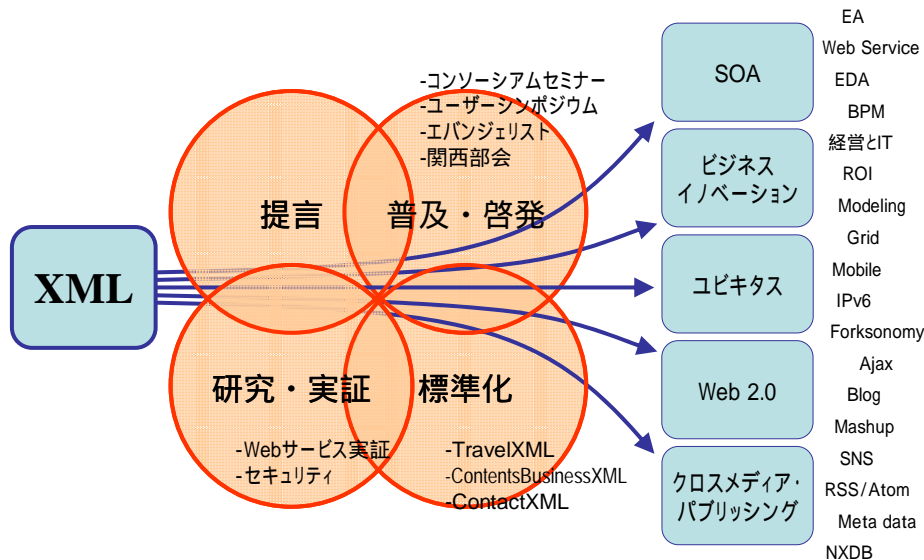
2006年度活動計画承認の件

XMLコンソーシアム

## 1. 2006 年度活動方針

## 基本方針

## XMLコンソーシアム活動 &lt; 2006年度 &gt;



1. XMLの適用分野の広がりに合わせて、SOA、ユビキタス、企業システムのためのWeb2.0といった新しい領域の活動をさらに推進する。
    - (1) 普及・啓発
    - (2) 研究・実証
    - (3) 標準化支援
    - (4) 提言
  2. XMLコンソーシアムの特質・特徴の更なる充実を図る。
    - (1) 中立性
    - (2) 他団体との協業
    - (3) 一社ではできない活動、競合関係を越えた活動
    - (4) 人的ネットワークの構築
    - (5) 成果物の公開
- 重点施策**
1. 活動の充実
    - (1) 部会活動をさらに充実させるとともに、会員企業や市場における認知度の向上を図る。
    - (2) 部会への新規参加を行いやすくするために、各部会に新規参加メンバー担当を置く。
    - (3) Web2.0部会を新設し、企業システムにおけるWeb2.0の使用を研究し提言を行う。
    - (4) 他団体との協業により、社会に一層貢献できる活動の強化を図る。
    - (5) 活動報告書の発行、書籍の監修や記事の執筆を通じて部会の成果を会員企業および外部に対し発信する。
    - (6) 「勉強会」の仕組みを設け、会員企業や市場のニーズに対する迅速な対応を図る。
  2. 広報・告知の充実
    - 会員企業、非会員企業への広報・告知活動の充実によって、コンソーシアムの活動が各会員企業で十分に理解・評価されるようにし、また非会員企業に会員として参加するメリットをアピールする。
    - (1) ホームページのリニューアル
    - (2) 活動報告書の発行(年1回、集大成版を作成)
    - (3) エバンジェリストブログの開始(メディア連携)
    - (4) メールマガジンの購読数倍増(約600 → 1200)
    - (5) 活動や成果の積極的なプレスリリース
    - (6) 卓越した貢献に対する表彰やレコメンデーションの発行



## 3. 会員企業の増加

- Web2.0への取り組みを含めた最新のコンソーシアム活動を市場で広く理解してもらうことで、新たな会員の増加を図る。
- 「クロスメディア・パブリッシング部会」を新設し、ドキュメント関係会員の要望に応えとともに、新規会員の参加を促進する。
- 2004年度に設立した「ユビキタス・組み込み系部会」ならびに「ビジネス・イノベーション研究部会」の活動については、XMLコンソーシアムで活動を行っていることに対する認知度が未だ低いため、改めて外部にアピールし、会員増強を図る一助とする。

## 4. 他団体との連携

継続して連携を行う関係(ABC,50音順)

- DOPG
  - OASIS
  - OMG
  - WS-I J SIG
  - XBRL Japan
  - XML技術者育成推進委員会(XMLマスター)
  - YRPユビキタス・ネットワーキング研究所
  - 次世代電子商取引推進協議会(ECOM)
  - 情報処理学会(IPSJ)
  - 製造業XML推進協議会(MfgX)
  - 日本経営協会(NOMA)
  - 日本道路交通情報センター(JARTIC)
  - 日本旅行業協会(JATA)
  - ビジネスモデル学会(BMA)
  - PSLXコンソーシアム
  - ITS Japan
  - UMLモデリング推進協議会(UMTP)
- 新しい連携関係を模索・検討(ABC,50音順)
- HR-XML 関連
  - 日本印刷技術協会(JAGAT)

## 体制

## 1. 会員制度・資格

- 現行通りとする。

## 2. 組織、体制

- 現行通りとする。

## 3. 部会

- Web2.0部会を新設し、企業システムにおけるWeb2.0に焦点を当てた活動の強化を図る。
- クロスメディア・パブリッシング部会を新設し、ドキュメント関連に焦点を当てた活動の強化を図る。

## 4. 運営委員会

- 運営委員の拡充を図る。

## 2. 2006 年度会員数目標

法人会員、個人事業主会員：200社

## 3. 2006 年度年間主要活動計画

## 年次総会

2006年6月 1日 第6回総会・理事会・懇親会  
(2007年5月下旬～6月上旬 第7回総会・理事会・懇親会)

## 月次

運営委員会

部会リーダー・ミーティング

部会別月例ミーティング

## XMLコンソーシアムメールマガジンの発行

## 随時

プレスリリースおよびプレス取材対応  
記事や書籍の執筆活動  
他団体との交流会、情報交換会 等  
ホームページ更新作業

## 定期開催イベント・セミナー

## 部会成果発表会

(2006年 5月22～26日 第5回部会成果発表会(XMLコンソーシアムWeek))  
2006年12月中旬 第9回部会中間成果発表会(XMLコンソーシアムDay)  
2007年 5月下旬 第6回部会成果発表会(XMLコンソーシアムWeek)

## ユーザー・シンポジウム

2006年12月中旬 第5回ユーザー・シンポジウム

## 随時開催セミナー・イベント

今年度はXMLの技術面を深める内容のセミナーを増やす。  
その時々が発生するトピックを適宜かつ柔軟に取り上げて開催する。

## XMLコンソーシアムセミナー 3～5回

テーマ:XML関連技術、標準化動向、XMLの視点で考える内部統制、Web2.0、製品紹介 等。

## 部会紹介セミナー 1回(6月開催)

部会活動を希望される方に対し、部会の設立主旨や活動実績・計画等を紹介し、部会活動にスムーズに入  
っていただけることを目的としたセミナー。

## 関西Day(6月開催)および地方支援セミナー・イベント 2回以上

首都圏以外のXML関連団体や企業からの要望により、協力して開催する。

(主に国内主要都市で開催する)

## 外部主催イベントへの協力 10回以上

外部主催の催事に対しセミナー講師派遣や展示ブースの出展など実質的な活動を行い、XML、Webサー  
ビスの普及活動を行う。外部主催のイベントへの協賛・後援・協力 等への対応も随時行う。

注:外部とは、会員会社、他団体およびイベント会社を指す。

催事とは、展示会やセミナー、企業主催プライベートイベント等を指す。

## 勉強会関連イベント

会員会社がXMLに関連する技術・製品・ビジネスなどをテーマとし、既存部会に先行して情報収集や共有を  
行ったり、既存活動の枠を越えた活動を行う「勉強会」に関連したイベント・セミナー。

勉強会の活動状況に応じて、適宜開催する。

- ・ XMLマスター勉強会:試験対策セミナーと本試験を年2回開催
- ・ XML入門編勉強会 :ソフトウェア技術者、企業のXMLシステム導入担当者にXMLの基礎技術を説明  
する。春～夏に1回開催。

## &lt;参考&gt; 2006年度の月別セミナー・イベント スケジュール

- ・ 6月・・・部会紹介セミナー  
    関西Day
- ・ 7月・・・勉強会 <XML入門編 >
- ・ 8月・・・XMLコンソーシアムセミナー < 予定テーマ:検討中 >
- ・ 9月・・・勉強会 < XMLマスター >
- ・ 10月・・・XMLコンソーシアムセミナー < 予定テーマ:検討中 >
- ・ 11月・・・XMLコンソーシアムセミナー < 予定テーマ:検討中 >
- ・ 12月・・・XMLコンソーシアムDay(部会中間成果発表会)
- ・ 1月・・・ユーザ・シンポジウム
- ・ 2月・・・XMLコンセミナー < 予定テーマ:検討中 >
- ・ 3月・・・勉強会 < XMLマスター >
- ・ 5月・・・XMLコンソーシアムWeek(部会成果発表会)
- ・ 6月・・・総会

以上

## 第5号議案

2006年度予算計画承認の件

XMLコンソーシアム

## 1. 予算計画

(単位:円)

	2005 年度 実績	2006 年度 予算案	備考
<b>収入の部</b>			
前期繰越金	7,602,783	5,500,559	
年会費	16,902,500	17,000,000	10 万円 × 170 法人会員
セミナー参加費	199,000	100,000	2 千円 × 50 名
雑収入	28,113	0	受取利息等
<b>収入の部合計</b>	<b>24,732,396</b>	<b>22,600,559</b>	

<b>支出の部</b>			
総会開催費	2,452,768	2,500,000	会場費、設備費、資料印刷費、懇親会費用等
セミナー開催費	103,328	800,000	資料印刷費用、講師謝礼/飲み物代、設備費等: 10 万円 × 8 回
成果発表会開催費	529,047	600,000	資料印刷費用、講師謝礼/飲み物代、設備費等: 30 万円 × 2 回
ユーザー・シンポジウム開催費	1,761,774	500,000	会員会社会場を使用。資料印刷費用、講師謝礼 /飲み物代、設備費等:50 万円 × 1 回
HP リニューアル費	0	1,000,000	HP のデザイン変更費用
サーバー運用費	1,575,000	1,575,000	サーバーホスティング費用:13 万円 × 12 ヶ月
部会・推進委員会支援金	881,646	800,000	部会、標準化推進委員会
メルマガ制作費	840,000	840,000	7 万円 × 12 回
活動報告書制作費用		700,000	活動報告書(セミナー、成果発表会の資料)制作 費用
業務委託費	10,080,000	10,080,000	事務局業務委託費用:84 万円 × 12 ヶ月
通信費・車両運搬費	276,562	360,000	TEL/FAX、郵便、宅急便等の費用: 3 万円 × 12 ヶ月
旅費交通費	155,620	240,000	事務局交通費:2 万円 × 12 ヶ月
事務消耗品費	437,434	600,000	コピー関係費用、事務用品、消耗品費等: 5 万円 × 12 ヶ月
雑費	138,658	470,000	外注費用:20 万円、振込手数料等:1 万円 × 12 ヶ 月、理事会費用:15 万円
予備費		1,535,559	
次期繰越金	5,500,559	0	
<b>支出の部合計</b>	<b>24,732,396</b>	<b>22,600,559</b>	

**第6号議案**

**2006年度 理事 / 監事選任の件**

**XMLコンソーシアム**

## 1. XML コンソーシアム役員構成

(敬称略 会社名順)

### 【会長】

鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)  
会社名: 独立行政法人 情報処理推進機構  
役職: ソフトウェア・エンジニアリング・センター所長

### 【副会長】

平野洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)  
会社名: インフォテリア株式会社  
役職: 代表取締役社長

田原 春美 (タハラ ハルミ)  
会社名: 日本アイ・ピー・エム株式会社  
役職: ソフトウェア事業 エマージング・テクノロジープログラム担当 部長

### 【理事】

上野 守生 (ウエノ モリオ)  
会社名: 亜細亜証券印刷株式会社  
役職: 代表取締役社長

下川 和男 (シモカワ カズオ)  
会社名: イースト株式会社  
役職: 代表取締役社長

加瀬 一朗 (カセ イチロウ)  
会社名: NTTコムウェア株式会社  
役職: 取締役 研究開発部長

大西 廣一 (オオニシ ヒロカズ)  
会社名: NTTソフトウェア株式会社  
役職: 取締役 技術センター所長

山本 修一郎 (ヤマモト シュウイチロウ)  
会社名: 株式会社NTTデータ  
役職: 技術開発本部 副本部長

塩川 公男 (シオカワ キミオ)  
会社名: 株式会社大塚商会  
役職: Eビジネスプロモーション部 取締役部長

植松 裕次 (ウエマツ ユウジ)  
会社名: サン・マイクロシステムズ株式会社  
役職: クライアント・ソリューション統括本部チーフ・テクノロジスト  
(兼)デスクトップ&モビリティ・ソリューション本部長

浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)  
会社名: 株式会社ジャストシステム  
役職: 代表取締役専務

守安 隆 (モリヤス タカシ)  
会社名: 東芝ソリューション株式会社  
役職: IT技術研究所 参事

弓削 哲也 (ユゲ テツヤ) (新任)  
会社名: 日本テレコム株式会社  
役職: 研究所 CTO 兼 所長

高島 洋典 (タカシマ ヨウスケ)

会社名: 日本電気株式会社

役職: ソリューション開発研究本部 システム基盤ソフトウェア開発本部 本部長

鈴木 俊宏 (スズキ トシヒロ)

会社名: 日本オラクル株式会社

役職: システム事業推進本部 スタンダードストラテジー & アーキテクチャー シニアディレクター

三隅 武司 (ミスミ タケシ)

(交代)

会社名: 日本ヒューレット・パカード株式会社

役職: マーケティング統括本部 HPサービスマーケティング本部

丸山 修 (マルヤマ オサム)

(交代)

会社名: 日本ユニシス株式会社

役職: 取締役執行役員 総合技術研究所 所長

石井 清 (イシイ キヨシ)

会社名: 株式会社日立システムアンドサービス

役職: 執行役 産業システムサービス事業部 副事業部長

小塚 潔 (コヅカ キヨシ)

会社名: 株式会社日立製作所

役職: 経営企画室 室長

前澤 裕行 (マエザワ ヒロユキ)

会社名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

役職: 執行役 技術開発本部 本部長

矢田 善春 (ヤダ ヨシハル)

(交代)

会社名: 富士ソフトABC株式会社

役職: 取締役

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)

会社名: 富士通株式会社

役職: ソフトウェア事業本部 技師長

鈴木 協一郎 (スズキ キョウイチロウ)

会社名: マイクロソフト株式会社

役職: 執行役 デベロッパーマーケティング本部長

國井 秀子 (クニイ ヒデコ)

会社名: 株式会社リコー

役職: 常務執行役員

#### 【監事】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)

会社名: 株式会社ジャストシステム

役職: 社長室 部長

水谷 学 (ミズタニ マナブ)

会社名: ビー・シー・イー株式会社

役職: 専務取締役

(新任)、(交代): 昨年度総会以降および今総会での交代

以上

## &lt; 参考 &gt;

(敬称略 会社名順)

## 【運営委員会】

イースト株式会社	下川 和男、藤原 隆弘
インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身
株式会社NTTデータ	遠城 秀和
株式会社大塚商会	都志 陽介
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二
東芝ソリューション株式会社	舟城 亮一
日本テレコム株式会社	岡廻 隆生
日本電気株式会社	西野 陽一郎、杉山 高弘
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美 (運営委員会議長)
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫、田中 一義
株式会社日立製作所	大場 みち子、坂川 浩二郎
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	蓬田 義一、河村 嘉之
富士通株式会社	太田 英紀
株式会社リコー	今郷 詔

## 【担当】

## 情報収集発信

イースト株式会社	下川 和男
東芝ソリューション株式会社	舟城 亮一
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫(リーダー)、田中一義
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	蓬田 義一

## 渉外

イースト株式会社	藤原 隆弘(リーダー)
日本電気株式会社	西野 陽一郎
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美

## セミナーイベント企画

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎(ユーザーシンポジウム)
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身(Week、Day)
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二 (サブリーダー)
日本電気株式会社	西野 陽一郎
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美(ユーザーシンポジウム)
株式会社日立製作所	大場 みち子(Week、Day)、坂川 浩二郎 (リーダー)
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	河村 嘉之

## 広報

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎 (リーダー)
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美



日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏
メルマガ	
日本電気株式会社	西野 陽一郎
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀
富士通株式会社	太田 英紀 (リーダー)
標準化推進委員会	
インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
株式会社 NTT データ	遠城 秀和 (リーダー)
日本電気株式会社	杉山 高弘
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏

## 【事務局長】

富士ソフトABC株式会社	野田 博正
--------------	-------

以上